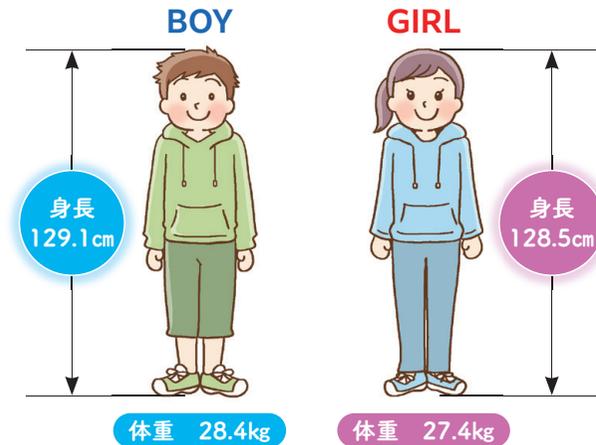


3年生の「心と体」データ集

2023年版

① 身長・体重

令和3年度の文部科学省「学校保健統計調査」によると、身長の平均値は平成6年度から13年度あたりをピークに、その後は横ばい傾向にあります。体重の平均値は平成18年度あたりからほぼ横ばいとなっています。

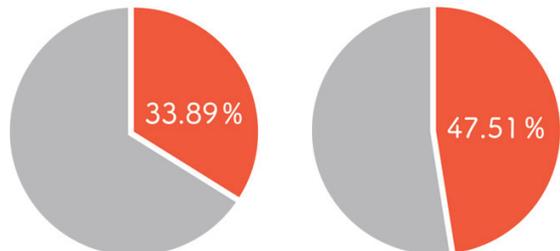


文部科学省「学校保健統計調査」(令和3年度)

② 視力・むし歯

視力についての調査によると、1.0未満の子供の割合が3割を超えてくるのが3年生です。また、むし歯(う歯)の者の割合は、8歳が最も高くなっています。

■視力 1.0未満 ■むし歯(う歯)



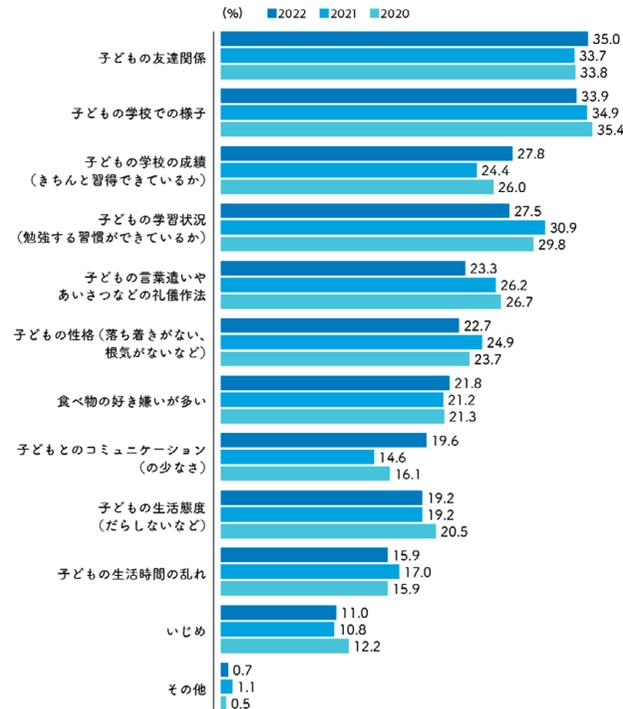
文部科学省「令和3年度学校保健統計調査」

③ 保護者が子供について気にかかっていること

「家庭学習についての調査」によると、保護者が子供について気にかかっていることは「子どもの友達関係」が

35%、「子どもの学校での様子」が33.9%、「子どもの学校の成績(きちんと習得できているか)」が27.8%と上位3項目になりました。

■子供について気にかかっていること



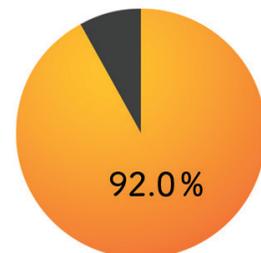
公文教育研究会「家庭学習調査2022」

2022年12月、小学校1～3年生の子供がいる世帯の母親1,000人、父親800人を対象に実施

④ インターネット

インターネットを利用状況を見てみましょう。

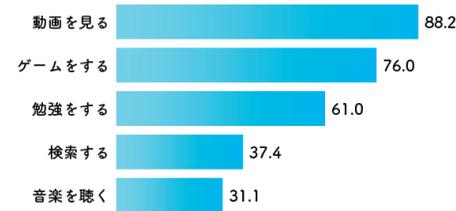
■インターネットを利用している子供の割合 (%) 8歳



内閣府「令和4年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」 「インターネット利用内容」は「動画視聴」と「ゲーム」、次いで「勉強をする」が続きます。2年生からの変化とし

ては特に「勉強をする」「検索する」の割合が増えており、家庭での学習や調べものにインターネットを活用している様子が見えてきます。

■子供のインターネットの利用内容 (%) 8歳

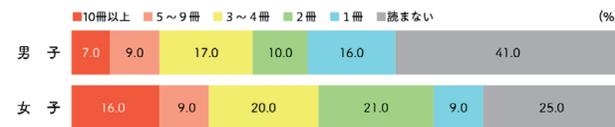


内閣府「令和4年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」

⑤ 読書量

3年生はどのくらい読書しているのでしょうか? 学研教育総合研究所による2022年9月の調査によると、1か月の平均読書量は2.9冊。男女別では男子が2.3冊、女子が3.4冊となっています。

調査を始めた2014年以降、例外もありつつもほぼ毎年減少している1か月の読書量は、今回も最低冊数を更新しています。10冊以上読む子供の割合は11.5%となった一方、1冊も「読まない」子供の割合は33.0%となり、調査史上初の30%を超えとなり、読書量の低減が明らかになっています。



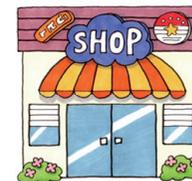
学研教育総合研究所 小学生白書(2022)

⑥ おこづかい

3年生が自由に使える毎月のおこづかいの金額はどのくらいでしょうか? 平均では270.3円となり過去3年の平均値を下回ることとなりました。ただし、7割近くがまだ「もらっていない」と回答しています。いずれの項目も2年生からの大きな変化はありませんでした。



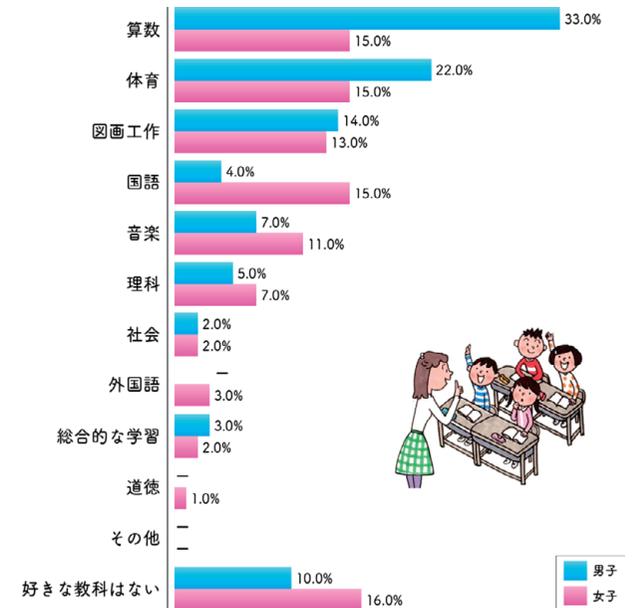
学研教育総合研究所 小学生白書(2022)



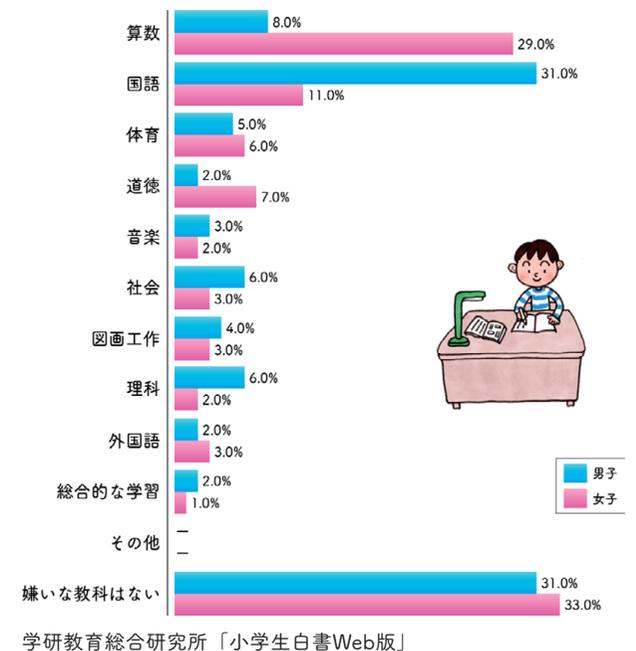
⑦ 好きな教科・嫌いな教科

男女で差はあるものの、3年生全体では算数が「好き」で1位、国語が「嫌い」で1位となっています。女の子に関しては一番好きな教科は算数・国語・体育が同率で多く、嫌いな教科では算数がダントツのトップとなっています。男の子は好きな教科は算数、嫌いな教科は国語である割合が高く、国語に対する苦手意識がうかがえます。一方、嫌いな教科がないと答えた子供は3年生全体で32%だったのに対し、好きな教科がないと答えた子供は13%にとどまりました。

■好きな教科



■嫌いな教科



学研教育総合研究所「小学生白書Web版」